

#1

株式会社エール (宇部市/サービス業)



2020年設立。通所介護と介護予防通所介護を主な事業とし、リハビリディサービスエールとフィットネスデイミココロを運営。理学療法士3名、作業療法士1名が在籍し、充実のリハビリを提供。安心・安全・高位品質なサービスを追求し、利用者はもちろん家族も満足できるサービスを目指す。企業理念は「よかった」。利用者とその家族、スタッフ、取引先、地域の人々など、エールに関わった全ての人が思わず「よかった」と言いたくなる企業となるべく邁進中。

企業概要

- 代表者 小泉 利治
- 所在地 山口県宇部市
中村二丁目6番11号
- 資本金 1,300万円
- 設立 2019年
- 従業員 38名 (2024年現在)
- T E L 0836-39-5857
- F A X 0836-39-5861
- U R L <https://yell-kaigo.co.jp>

取組内容

コンピテンシー(行動特性)をもとに性別に関わらず適応できる評価制度の導入

- 01 前年の成績優秀表彰者の行動特性を抽出**
- 02 行動傾向の分析結果から評価項目を設定**
- 03 具体的事例をベースに採点方法を工夫**

●コンピテンシー評価項目選択リスト

No	項目	説明
1	冷静さ	冷静に判断されることなく、落ち着いていて物事を動かしている。
2	行動的	行動や行動の結果で物事を動かしている。
3	ルール遵守	井然と秩序や規則、時間で守ることをしないといけない。
4	問題面古	井然と秩序や規則、時間で守ることをしないといけない。
5	在庫管理	井然と秩序や規則、時間で守ることをしないといけない。
6	メリット・デメリット	井然と秩序や規則、時間で守ることをしないといけない。
7	ストレス耐性	井然と秩序や規則、時間で守ることをしないといけない。
8	柔軟性	井然と秩序や規則、時間で守ることをしないといけない。
9	適応性	井然と秩序や規則、時間で守ることをしないといけない。
10	思いやり	井然と秩序や規則、時間で守ることをしないといけない。
11	自己成長	井然と秩序や規則、時間で守ることをしないといけない。
12	素直さ	井然と秩序や規則、時間で守ることをしないといけない。
13	新鮮さ	井然と秩序や規則、時間で守ることをしないといけない。
14	創造性・コニギア	井然と秩序や規則、時間で守ることをしないといけない。
15	第一印象度	井然と秩序や規則、時間で守ることをしないといけない。

前年の成績優秀表彰者（全員女性）のコンピテンシー（行動特性）を抽出し、行動傾向を分析。その結果をグルーピングし、新たに評価項目を設定した。また、評価（採点）基準についても、誰が評価しても同じ結果となるよう、つまり、評価者が複数いても結果が一致するよう具体的な事例をベースに行動頻度から採点できるよう工夫した。今回の取り組みにより、男女の性差に関わらず適用できる評価制度が完成したのはもちろん、「求める職員像」および「目指すべき職員像」も明確となった。今後、女性管理職登用の促進および女性が働きやすい環境づくりをさらに加速させ、会社全体のレベルアップを目指す。

アドバイザーからの一言

新たな評価制度を作成。目指したのは「思い」の言語化

皆さんからの意見を汲み上げ、整理し、具体的に落とし込んでいく作業、つまり、「思い」の言語化のお手伝いをさせていただきました。こちらからの投げかけや提案に対し、タイムリーかつ真摯に回答・検討していただけ、とてもスムーズに進行できたと感じています。既存の成績優秀者の行動特性を反映した評価項目は、法人から職員に対しての「こういう働き方をしてほしい」というメッセージであり、行動指針です。評価制度の完成がゴールではありません。この評価制度が会社にどのような成長をもたらすのか楽しみにしています。



飯田 労務管理事務所
飯田 晃啓さん

経営者の
想い

理想の評価制度が完成 会社の成長につなげたい



専務取締役
山田 遼さん

よくあるテンプレートで評価制度の構築を試みてきましたが、納得できるものはできませんでした。この伴走支援事業で成績優秀者の行動特性を分析し、ようやく私たちの思いが反映された「当社らしい」評価制度ができました。今後、会社や社員の成長に合わせてアップデートを重ね、より働きやすく、より働きがいのある環境づくりに励みます。

従業員の
声

新しい人事評価制度で モチベーションがアップ



ミココロ管理者
竹原 陽子さん

評価基準が明らかとなって公平性が増し、普段から頑張っている人が正当に評価されるようになると期待しています。また、自分の成長に対する具体的なフィードバックも得られ、目標も立てやすくなりそうです。評価項目を見るだけでどんな職員が評価されるのかが理解でき、職員一人ひとりのモチベーションアップにもつながると思います。